2026年９月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月16日

上 場 会 社 名　　株式会社バンク・オブ・イノベーション　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4393　　URL https://www.boi.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 樋口　智裕
問合せ先責任者　(役職名) 取締役CFO経営管理部長　(氏名) 河内　三佳　　(TEL) 03-4500-2899

定時株主総会開催予定日　　2026年12月25日　　配当支払開始予定日　　―
有価証券報告書提出予定日　2026年12月24日
決算補足説明資料作成の有無　　：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　(　機関投資家・アナリスト向け　)

(百万円未満切捨て)

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	12,011	△2.9	2,056	△4.5	2,091	△4.3	1,847	36.7
2025年９月期	12,366	△9.2	2,154	62.0	2,185	60.4	1,351	50.9

(注) 包括利益　2026年９月期　1,847百万円(　36.7%)　2025年９月期　1,351百万円(　50.9%)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	464.85	―	27.4	24.7	17.1
2025年９月期	339.99	―	26.3	31.8	17.4

(参考) 持分法投資損益　2026年９月期　―百万円　2025年９月期　―百万円

(注) 潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	8,987	7,663	85.3	1,928.33
2025年９月期	7,943	5,816	73.2	1,463.51

(参考) 自己資本　2026年９月期　7,663百万円　2025年９月期　5,816百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	1,025	△148	△13	6,075
2025年９月期	2,867	123	△188	5,212

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2026年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2027年９月期(予想)	―	―	―	―	―		―	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

2027年９月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料Ｐ．３「１．（４）今後の見通し」をご覧ください。

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　一社（社名）　―　　、除外　　1社（社名）　株式会社Koiniwa

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	4,003,000株	2025年９月期	4,003,000株
②　期末自己株式数	2026年９月期	28,786株	2025年９月期	28,757株
③　期中平均株式数	2026年９月期	3,974,240株	2025年９月期	3,974,338株

（参考）　個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	11,536	△1.3	2,526	△2.6	2,341	6.9	1,840	35.7
2025年９月期	11,684	△9.1	2,593	53.2	2,190	62.1	1,356	56.8

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年９月期	463.07	―
2025年９月期	341.30	―

（注）潜在株式調整後１株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	8,975	7,661	85.4	1,927.86
2025年９月期	7,855	5,821	74.1	1,464.82

（参考）自己資本　　2026年９月期　7,661百万円　　2025年９月期　5,821百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 2
（４）今後の見通し …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 3
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）連結貸借対照表 …… 4
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 6
連結損益計算書 …… 6
連結包括利益計算書 …… 7
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 8
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（表示方法の変更） …… 10
（企業結合等関係） …… 10
（セグメント情報等） …… 11
（１株当たり情報） …… 11
（重要な後発事象） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気には緩やかな回復の動きも見られるものの、継続する物価高により実質購買力の伸び悩みが続き、消費者が景気回復を実感しにくい状態が続いております。この結果、指標と生活実感の間に依然としてギャップが残る状況となっております。今後は、雇用・所得環境の改善がこうした状況を好転させることが期待される一方、先行きの物価動向、米国の通商政策、中東情勢に伴う原油価格の動向及び自然災害の影響などが景気を下押しするリスクとなっております。これに加え、金利上昇や金融資本市場の変動、政府による対応の動向についても引き続き注視する必要があります。

当社グループの事業を取り巻く環境においては、2025年における世界のモバイルゲーム市場は12兆6,001億円、そのうち日本国内では１兆6,634億円と引き続き高い水準にあります（参考：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通モバイルゲーム白書2026」）。

当社グループにおいては、主力タイトルである『メメントモリ』を中心とした既存アプリの運営に取り組むとともに、中長期的な成長の要となる複数の新規アプリの企画・開発及び組織体制のさらなる強化を進めてまいりました。こうした中、『メメントモリ』において広告効率を重視して広告出稿量を抑制したこと、全社的な開発・運営体制の強化に伴う先行投資が増加したことなどにより、売上高及び営業利益は前連結会計年度比で若干の減少となりました。また、当社は2026年７月１日付で完全子会社である株式会社Koiniwaを吸収合併したことに伴い税金費用が減少したことを主因として、親会社株主に帰属する当期純利益が前連結会計年度比で増加いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は12,011百万円（前連結会計年度比2.9％減）、営業利益は2,056百万円（前連結会計年度比4.5％減）、経常利益は2,091百万円（前連結会計年度比4.3％減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,847百万円（前連結会計年度比36.7％増）となりました。

なお、当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

（２）当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は8,987百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,043百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,910百万円減少、有価証券が2,600百万円増加、敷金及び保証金が215百万円増加したためであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は1,323百万円となり、前連結会計年度末に比べ804百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が710百万円減少したためであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は7,663百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,847百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益を1,847百万円計上したことに伴い、利益剰余金が1,847百万円増加したためであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度と比べて863百万円増加し、6,075百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は1,025百万円（前連結会計年度比1,842百万円の収入減）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上2,091百万円、法人税等の支払額1,119百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は148百万円（前連結会計年度は123百万円の収入）となりました。主な要因は、敷金及び保証金の差入による支出235百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は13百万円（前連結会計年度比175百万円の支出減）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出13百万円であります。

（４）今後の見通し

当社グループは、「品質最優先」の方針のもと、既存ゲームアプリの長期運営並びに自社IPの育成を行いつつ、高品質の新規ゲーム及びサービス（以下、「新規アプリ」）の開発・運営等によって、数年ごとに年間売上高をそれまでの数倍規模に引き上げていくことを目指しております。また、当社グループの新規アプリの多くは、自社IPかつ自社開発であり、ヒットした場合には高い利益率と大きなリターンを期待できる一方、開発本数を絞ることによるリスクがあり、また、既存アプリの経年による売上高減少も想定しております。

当社グループは引き続き、ゲーム内外を問わずユーザーに長く楽しんでいただくための施策の投入等を通じて、よりよいサービスの提供を目指すとともに、高品質の新規アプリ開発に注力してまいります。

なお、機動的な投資判断を実施していく方針であることから、現時点では適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため、2027年９月期の連結業績予想は非開示としております。今後、事業の進捗等により、情報利用者をミスリードさせることのない適正かつ合理的な業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準は日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用につきましては、当社グループの事業における内部環境及び外部環境を考慮したうえで、適切な対応をとっていく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,186	2,275
売掛金	1,522	1,321
有価証券	1,200	3,800
その他	236	421
流動資産合計	7,145	7,818
固定資産		
有形固定資産		
建物	78	103
減価償却累計額	△17	△22
建物（純額）	60	81
工具、器具及び備品	63	112
減価償却累計額	△42	△61
工具、器具及び備品（純額）	20	50
有形固定資産合計	81	132
無形固定資産		
ソフトウエア	1	15
無形固定資産合計	1	15
投資その他の資産		
繰延税金資産	138	229
敷金及び保証金	576	791
投資その他の資産合計	715	1,020
固定資産合計	797	1,168
資産合計	7,943	8,987

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	13	－
未払金	865	700
未払法人税等	733	22
その他	415	498
流動負債合計	2,027	1,221
固定負債		
その他	100	102
固定負債合計	100	102
負債合計	2,127	1,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	562	562
資本剰余金	715	715
利益剰余金	4,647	6,495
自己株式	△109	△109
株主資本合計	5,816	7,663
純資産合計	5,816	7,663
負債純資産合計	7,943	8,987

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
売上高	12,366	12,011
売上原価	6,367	6,791
売上総利益	5,998	5,220
販売費及び一般管理費	3,844	3,163
営業利益	2,154	2,056
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	29
その他	23	4
営業外収益合計	33	34
営業外費用		
その他	2	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	2,185	2,091
税金等調整前当期純利益	2,185	2,091
法人税、住民税及び事業税	899	333
法人税等調整額	△65	△90
法人税等合計	834	243
当期純利益	1,351	1,847
親会社株主に帰属する当期純利益	1,351	1,847

連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
当期純利益	1,351	1,847
包括利益	1,351	1,847
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	1,351	1,847

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	562	715	3,296	△107	4,466	4,466
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			1,351		1,351	1,351
自己株式の取得				△1	△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						－
当期変動額合計	－	－	1,351	△1	1,349	1,349
当期末残高	562	715	4,647	△109	5,816	5,816

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	562	715	4,647	△109	5,816	5,816
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			1,847		1,847	1,847
自己株式の取得				△0	△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						－
当期変動額合計	－	－	1,847	△0	1,847	1,847
当期末残高	562	715	6,495	△109	7,663	7,663

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,185	2,091
減価償却費	14	27
受取利息及び受取配当金	△10	△29
売上債権の増減額（△は増加）	22	201
未払金の増減額（△は減少）	△42	△171
未収消費税等の増減額（△は増加）	242	△0
未払消費税等の増減額（△は減少）	165	△6
その他	128	4
小計	2,705	2,114
利息及び配当金の受取額	10	29
法人税等の支払額	△172	△1,119
法人税等の還付額	325	0
その他	△1	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,867	1,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	316	174
有形固定資産の取得による支出	△35	△69
無形固定資産の取得による支出	－	△16
敷金及び保証金の差入による支出	△158	△235
その他	0	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	123	△148
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△187	△13
自己株式の取得による支出	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188	△13
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,802	863
現金及び現金同等物の期首残高	2,409	5,212
現金及び現金同等物の期末残高	5,212	6,075

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（連結損益計算書関係）

前連結会計年度において独立掲記していた「営業外収益」の「受取手数料」は、当連結会計年度においては金額的重要性が乏しくなったため、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。以上の表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において表示していた「営業外収益」の「受取手数料」19百万円及び「その他」3百万円は、「その他」23百万円として組み替えております。

（企業結合等関係）

（共通支配下の取引）

完全子会社の吸収合併

当社は、2026年３月24日開催の取締役会において、当社を存続会社、当社の完全子会社である株式会社Koiniwaを消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、同日付で吸収合併契約を締結いたしました。また、2026年７月１日付で本合併を実施いたしました。

１．企業結合の概要

(1) 吸収合併消滅会社の名称及びその事業の内容

吸収合併消滅会社の名称　株式会社Koiniwa

事業の内容　スマートフォン向けサービスの開発・運営

(2) 企業結合日

2026年７月１日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社Koiniwaを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社バンク・オブ・イノベーション

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社Koiniwaにおいては、ゲーム×マッチングアプリ『恋庭』の運営並びに改良版／海外版の開発に取り組んでまいりましたが、経営資源を当社へ集約することによる生産性の向上を目的として、本合併を実施したものであります。

２．会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　2019年１月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　2019年１月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理しております。なお、当該合併に伴い、当社が保有する株式会社Koiniwaの株式を消去した結果、抱合せ株式消滅差益（特別利益）が生じております。連結財務諸表においては、当該差益は相殺消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(１株当たり情報)

	前連結会計年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当連結会計年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
１株当たり純資産額	1,463.51円	1,928.33円
１株当たり当期純利益	339.99円	464.85円

(注) １．潜在株式調整後１株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当連結会計年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,351	1,847
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,351	1,847
普通株式の期中平均株式数(株)	3,974,338	3,974,240

(重要な後発事象)

該当事項はありません。